

平成30年度版

玉野市の概要

たまのってどんなまち？



©いしいひさいち

目次

玉野市のプロフィール	1
玉野市のよいところ	3
都市交流	5
まちづくり	7
ユニークな行政施策	11
観光	15
イベント	18
特産物	20
玉野市のあゆみ	22
データで見る玉野市	24



玉野市のプロフィール

玉野市は、岡山県の南端に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた、風光明媚で温暖な気候の港町です。

市の中心部にある宇野港は、岡山県の海の玄関口であり瀬戸内海の海上交通の重要拠点として発展してきました。フェリーの定期航路のほか、近年では大型船舶が着岸できる耐震バースに外国からのクルーズ客船の寄港も増えています。

産業については、造船業の企業城下町として発展してきたこともあり、多くの造船関連企業が集積する「ものづくりのまち」といわれ、製造業が中心となっています。

近年、市民のまちづくりに対する参画意識が高まっていることから、地域が主体性を持ち、その能力を十分発揮できるよう市民活動の積極的な支援を行い、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるとともに、本市を取り巻く環境の変化に適切に対応し、限りある財源の中で事業の選択と集中を行いながら、「安心・活力・支えあい～みんなで築く自立都市」を将来像として掲げ、地域の特色を生かした満足度の高いまちづくりを進めています。

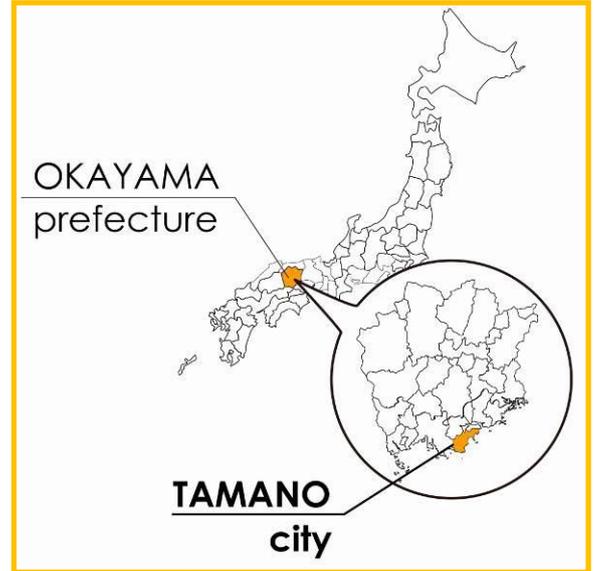


玉野市民憲章

瀬戸内の美しい自然に恵まれた私たちは、郷土の発展とおたがいの幸福を願って、この憲章を生活のささえとします。

- 1 健康で、明るくはたらきましょう。
- 2 みんな仲よく、助けあいましょう。
- 3 きまりを正しく、守りましょう。
- 4 緑と花のまちを、育てましょう。
- 5 世界に伸びる玉野をつくりましょう。

市の花「つつじ」 市の木「ばべ」 市の魚「めばる」



位置

東経 133 度 57 分、北緯 34 度 29 分、
東西 16.2 km、南北 14.3 km、
岡山県の南端、児島半島の基部に位置。

地勢

南部の花崗岩地帯（64%）と北部の秩父古生層地帯（36%）に区分され、市域の約 60%が山地で、大きな河川もなく、特に海岸部は花崗岩質の山麓が海に迫り、複雑な海岸線を形成。平野部は約 40%で、その大部分を農村地帯が占め、海岸部の平地は、埋立造成地を中心に集落を形成。

面積 (H29.10.1)

103.58 km²

人口 (H30.3.31)

60,079 人

男性：29,291 人

女性：30,788 人

世帯数 (H30.3.31)

27,727 世帯

1 世帯あたり人数 2.17 人

人口密度 (H30.3.31)

580 人/km²

玉野市のよいところ

市民が「あたりまえ」と思っている玉野市の日常風景。
実は意外な「よいところ」にあふれています。



恵まれた自然環境

年間日照時間は全国でも上位に入り、「晴れの国おかやま」に相応しい、温暖かつ小雨の気候に属しています。

また、約 44 kmの海岸線、緑溢れる山々など、風光明媚な自然環境に恵まれていることに加え、地震などの災害が少なく、とても住みやすい土地柄です。



大型客船が寄港する港

宇野港の耐震大型客船バースは西日本最大級。年間を通じて、多くの客船が寄港しています。

また、四国や瀬戸内海の島々への海上交通として、フェリーも運航しています。



広い都市公園

丘陵地の自然を活かした「みやま公園」は面積約 200ha。敷地内には桜やツツジなど約 15 万本が植栽されています。

住民一人当たりの都市公園の面積は県内で最も広く、全国平均のおよそ 5 倍もあります。



瀬戸内国際芸術祭

瀬戸内国際芸術祭は、地域の活性化と瀬戸内の魅力を世界に発信することを目的として、3年に1度開催されるアートの祭典です。

玉野市も会場として参加し、多くの観光客が訪れています。



玉野けいりん

瀬戸内海を望むシーサイドバンク。1950年の開設以来、玉野市の財政を支えてきました。2016年1月にはナイター照明を整備し、夜間も開催をしています。

マスコットの「ガッツ玉ちゃん」は一度見たら忘れられないインパクトがあります。



整備された下水道

下水道普及率は 94.4%（平成 29 年度末）と県内 15 市中 1 位の普及率です。

適切な生活排水の処理を行い、住み心地のよいまちづくりに取り組んでいます。



救急車の到着が早い

通報から現場への到着時間は、平均 6.6 分と全国平均 8.5 分より約 2 分も早いまちです。（平成 28 年中）。

市内に 1 署 4 出張所の計 5 か所に救急車を配備し、素早く現場に到着できる体制を整えています。



充実した子育て教育施策

「地域ぐるみの中学校区一貫教育」を推進しています。

教育サポートセンターでは、青少年健全育成や教育相談等に取り組んでいます。

学校サポートスタッフや非常勤講師の配置等で学習環境づくりを進めています。

また、中学校卒業までの医療費（保険適用分）を市が負担します。



市民参加のまちづくり

「玉野市協働のまちづくり基本条例」を定め、市内の自治会・町内会や NPO 法人、ボランティア団体などの各種団体が行う社会貢献活動を支援する「協働のまちづくり事業」を実施しています。



葬祭費無料

昭和 48 年から実施している無料葬祭制度。市民は、市に対して有形・無形の貢献をしているとの考えから始まった制度です。



シーバス&シータク

コミュニティバス「シーバス」と乗合タクシー「シータク」を組み合わせ、自家用車がなくとも通院、通学、ショッピング、そしてサークル活動といった、市民の皆さんが様々なシーンで活用できる移動手段を提供しています。



玉野市立図書館・中央公民館 (文化センター)

商業施設メルカの 2 階フロアの一部を身近な知の拠点とし、平成 29 年 4 月に移転しました。

さらなる市民サービスの向上と管理運営の効率化を図るため、指定管理者による管理運営を行っています。

都市交流

— 国内外に広がる友好の輪 —

国内では、岡谷市（長野県）と市制施行 40 周年を契機に、人口及び産業構造の類似した都市同士として、姉妹都市提携を締結しています。また、中央区（東京都）とは、本市の基幹産業である三井E&Sホールディングス、北興化学の本社が立地していること、港湾都市であることなどから交流が始まり、平成 8 年には災害相互援助協定を締結しました。そして、鳥人幸吉ゆかりの地としてかねてから民間交流が続いていた磐田市（静岡県）とは、平成 27 年に友好都市提携を締結しました。

国外では、統営市（大韓民国）と活魚の輸入を通じて交流が深まり、市制施行 40 周年記念事業のひとつとして、姉妹都市となりました。現在も玉野青年会議所を中心に市民レベルでの交流が続いています。また、グロスター市（アメリカ合衆国）とは、急速な国際化の流れの中で、英語圏の都市とも交流を進めることが、今後、重要な意味を持つてくるとの考えから、教育的・文化的に優れた同市との交流が始まりました。市民親善訪問団や中高生のホームステイなどによる市民レベルの交流を進めています。また、平成 5 年に玉野市長を団長とする訪問団が九江市（中華人民共和国）を訪れたことを契機に交流が始まり、その後、行政間ではもとより学校交流、書画展等の開催、研修生受入事業など民間ベースでの交流が進み、平成 8 年 10 月に友好都市縁組を締結しました。



長野県
お か や
岡谷市

姉妹
都市

【縁組締結】昭和 55 年 10 月 1 日
【面積】85.10 km²
【人口】48,763 人 (H30.8.1)



東京都
ちゅうおう
中央区

交流
都市

【都市縁組】未締結
(H8.7.29 防災協定締結)
【面積】10.115 km²
【人口】161,272 人 (H30.9.1)



静岡県
いわた
磐田市

友好
都市

【縁組締結】平成 27 年 11 月 8 日
【面積】163.45 km²
【人口】169,968 人 (H30.8.31)



アメリカ合衆国
マサチューセッツ州
グロスター市

姉妹
都市

【縁組締結】平成 16 年 7 月 23 日
【面積】67.31 km²
【人口】28,789 人 (H22.4.1)



まちづくり

玉野市総合計画 ーみんなで築くたまのプランー

安心・活力・支えあい ～みんなで築く自立都市

みんなで築くたまのプランは、玉野市における総合的、計画的な行政運営を図るために、平成19年4月に策定したものです。

「安心、活力、支えあい～みんなで築く自立都市」を将来像に掲げ、4つの柱（施策大綱）に基づき、各種施策の推進に取り組んでいます。

施策大綱

1 住み心地のよい
活気あるまち

施策大綱

2 健やかで安全・安心
に暮らせるまち

施策大綱

3 豊かな心を
はぐくむまち

施策大綱

4 市民が主役で
築くまち

1 生活基盤の整備

快適で
暮らしやすい
まちづくり

道路・交通などの利便性を向上させるとともに、計画的な土地利用を行い、良質な住環境を確保することで、快適な生活を送ることができるまちをつくりまします。



●玉野市乗合タクシー「シータク」

2 環境の保全

美しい
環境を守る
まちづくり

玉野市の恵まれた自然を保全するとともに、廃棄物等を適切に処理し、環境負荷を抑えることで、美しい自然環境を守り続けるまちをつくりまします。



●省資源・省エネルギー啓発イベント「くるりんクルクル」

3 産業の振興

活気ある いきいきとした まちづくり

商工業、農林水産業の活性化に努め、雇用の確保を図るとともに、港などを活用した観光振興により交流人口を増加させることで、活力のあるまちをつくりまします。



●たまの・港フェスティバル

4 安全の向上

安全で 災害に強い まちづくり

災害、火災等の予防に努めるとともに、発生時には、迅速かつ的確に対応できる体制を構築することで、安全な生活を送ることができるまちをつくりまします。



●玉野市消防団消防操法訓練大会

5 福祉の充実

安心して 生活できる まちづくり

子どもたちが健やかに成長し、また、高齢者や障害者が自立した生活が送れるよう、必要な支援を行うなど、すべての市民が安心して生活を送ることができるまちをつくりまします。



●宇野幼稚園

6 保健・医療の充実

元気のある 健康な まちづくり

市民の健康づくりと、地域医療の充実を進めることで、すべての市民が必要な医療を受け、健康な生活を送ることができるまちをつくりまします。



●いきいき百歳体操

7 文化の醸成

生きがいに
満ちた豊かな
まちづくり

いつまでも学び続けられる環境を提供するとともに、芸術・文化、スポーツを振興することで、すべての市民が生きがいに満ちた人生を送ることができるまちをつくりまします。



●たまの市民音楽祭

8 教育の充実

心豊かな人を
はぐくむ
まちづくり

学校や地域・家庭における教育を充実させ、学力の向上と心の育成を図り、子どもたちを心豊かでたくましく育てることができるまちをつくりまします。



●玉野市教育サポートセンター

9 市民参加

市民参加の
まちづくり

コミュニティやボランティア等の市民活動を活性化させるとともに、行政情報の提供や市政への参画機会を充実させることで、市民がまちづくりに積極的に参加するまちをつくりまします。



●地域懇談会

10 地域経営

効果的・効率的な
行財政運営

市民ニーズを把握し、市民満足度の高い市政を推進するとともに、事業の選択と集中を図り、限られた資源を有効活用することで、効果的、効率的な行財政運営を行います。



●古具販売会

ユニークな行政施策

- 生涯学習の推進 -

現在、中央公民館を中心とした16か所の公民館と生涯学習センターが生涯学習活動の実践の場となっています。

また、平成10年から「まちづくり出前講座」として、市役所が関わっている仕事を学習するメニューを取り揃え、市職員や医師、市民ボランティア等が講師として、市民の自主的な生涯学習やまちづくりの活動を支援しています。

さらに、平成22年度から、地域を支える市民の育成の場として、「たまの地域人づくり大学」を開校し、様々な場面で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。



- 葬祭費の無料化 -

「市民は、市に対して有形・無形の貢献をしている」との考えのもと、昭和48年から、無料葬祭制度（市所有の霊柩車及び祭壇、本市斎場の待合室及び火葬炉、市が手配した木棺等付属品の使用に係るサービス）を実施しています。

玉野市斎場は、施設の老朽化に伴い新築し、大型棺への対応、動物炉の設置を行い、平成22年9月より供用を開始しています。



- より良い地域交通サービスの提供 -

コミュニティ交通は、免許が持てない学生や車の運転が難しくなった高齢者など、市内を自由に移動できない方々からの声を受け、コミュニティバス（シーバス）に乗合タクシー（シータク）を組み合わせた市民に身近な交通サービスを提供しています。

さらに、「シータク」は、市内の移動はもとより、路線バスやJRなどの交通機関とスムーズな乗り換えを実現し、利用の仕方によってさまざまな移動が可能となります。



- 商工業の活性化 -

玉野市は、造船業の企業城下町として発展を続け、現在も多くの造船関連企業が集積する「ものづくりのまち」です。これらのものづくり企業を応援するため、特に雇用創出や、新分野進出を伴う生産設備の取得を行う企業に対して支援を行うとともに、市内中小企業者に対する人材育成や情報化、販路開拓に関する取組も支援しています。

また、「若年者・女性雇用創出型創業応援事業」を実施し、若者や女性の新たな創業への支援を行うことで、街の賑わい創出と商業の活性化にも取り組んでいます。



- トップアスリート・アーティスト招へい事業 -

子どもたちにスポーツの楽しさを体験させ、中・長期的なスパンで各団体の選手強化につなげ、競技力の維持・向上に努めています。

また、小・中学生に優れた芸術文化に接する機会を提供し、次代を担う人材の育成や本市における芸術文化の振興を図っています。



- キャリア教育の充実 -

「グローバル」という言葉が生みだされるほど、地方にあっても世界的な視野が求められる時代です。

本市では「地域ぐるみの中学校区一貫教育」を全中学校区で実施し、その柱に学力向上とキャリア教育の充実を位置付けています。中学校の英語教諭が学区内の小学校に出向くほか、中高生には姉妹都市グロスターへのホームステイや市内イベント等での国際交流活動を推進するなど、時代を担う人材の輩出に向けた教育を進めています。



- こども医療費助成事業 -

中学校卒業までのこども医療費を全額補助（保険適用の一部負担金）することで、子育て費用の負担軽減と児童の健やかな成長を支援しています。





- 移住・定住促進事業 -

「たまののIUコンシェルジュ」が、あなたの移住を支えます。これまでに53組104人（2018年9月現在）の移住のお手伝いをしてきており、その豊富な知識と経験で、移住の検討段階から移住後に至るまで、親身に対応してくれます。お気軽にご相談ください。

また、移住を検討されている方を対象とした支援制度があります。

「たまのの認定移住者登録制度」…移住に役立つ情報や個別の要望に応じた情報提供を行っています。

「たまののお試し滞在助成金」…県外からの移住を検討されている方が「住居」や「仕事」を探す活動を行う場合や「地域情報」を収集する活動を行う場合に、滞在費の一部（宿泊費、レンタカー費用など）を助成します。

※その他関連する支援制度もあります。

- シティセールス推進事業 -

本市出身の漫画家いしいひさいち氏の協力のもと、朝日新聞に掲載中の4コマ漫画「ののちゃん」を市のイメージキャラクターと位置付け、原付バイクのオリジナルナンバープレートを始め、広報紙やウェブサイトなど、多様な媒体で活用し、情報発信を行っています。またNPO法人による「ののちゃんち」で、いしい氏の作品や市で作成したグッズを常設展示するなどしています。

また、市男性職員シティセールスグループ「TMN4.8」を結成し、市内外のイベントで市のPR活動を行っているほか、女性の視点から市への移住定住を促進するため「すみたま」（すみたくなるたまのの略）をキーフレーズとし、広報たまのInstagramで情報発信をしています。



©いしいひさいち

©いしいひさいち

- たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）の推進 -

本市が進める生涯活躍のまちづくりは、高齢者や移住者のみならず、学び、働く若者や地域住民、障害を持つ方、事業者等がそれぞれの知見や知識、技術等を活かして活躍することを目指す取組です。

具体的には、新たな健康アクティビティの開発に向けた地域資源の検証や魅力的な健康ツアーの構築を、地域住民や事業者を巻き込みながら進めることにより、本市に活気と魅力を生み出す本市独自のまちづくりを推進します。



<p>健康チェック</p>  <p>運動前に今の健康状態を確認して健康づくりのための情報をGET!!</p> <p>健康測定</p>	<p>健康サイクリング</p>  <p>玉野競輪場のバンクで健康サイクリング。気分は競輪選手!!</p> <p>健康運動</p>	<p>宇野港ウォーキング</p>  <p>潮風を感じながらまちなかアートを楽しみウォーキング♪</p> <p>気候療法</p>
<p>温泉プログラム</p>  <p>身体を動かした後は、温浴施設でリラックス。入浴指導を受け温浴効果倍増!</p> <p>温泉療法</p>	<p>ビーチフィットネス</p>  <p>裸足で砂浜♪ビーチヨガやビーチテニスなどで瀬戸内の海を満喫!</p> <p>海洋療法</p>	<p>アート体験</p>  <p>アート作家さんのレクチャーでガラス工芸などのアート体験♪</p> <p>リラックス</p>



- 玉野市立図書館・中央公民館（文化センター） -

平成 29 年 4 月に商業施設（天満屋ハピータウン・メルカ）に移転しました。身近な知の拠点であり、市民と来街者が行き交う交流拠点として、中心市街地の活性化に繋げています。

また、新たな賑わいの創出や生涯学習の推進のため、図書館機能と公民館活動が一体となって連携する、全国的にもめずらしい「図書館と公民館が融合した施設」として、活用されています。

イベント

海・港・船をコンセプトにした「たまの・港フェスティバル」や夏の風物詩となっている「玉野まつり」など、年間を通して多くのイベントが開催されています。

春



夏



秋

たまの渋川ビーチサッカー大会（夏と秋に開催）



元気が一番！まつり



鳥人幸吉まちづくりフェア

冬

道の駅みやま公園まつり
×
たまの雑穀フェスタ



通年

郷土芸能発表会



ART SETOUCHI



新造船の進水式



特産物

— たまの の おすすめ —

近年、本市では地産地消の気運が高まり、地域住民のアイデアで多種多様な特色のある加工品が登場するなど、「玉野らしい」新たな逸品づくりが始まっています。

その中でより優れた逸品を“玉野ブランド”として認定しているのが「お宝たまの印」で、現在、54の商品が認定を受けています。

海産品

【特産物】

海苔、メバル、ゲタ、サワラ、タイ、ハモ、アナゴ、マナガツオ、ベイカ

【お宝たまの印】

たまげた一夜干、焼きたこ、たこの味噌漬
穴子の味噌漬、大多幸くん（燻製）
タイくん（燻製）、サワラくん（燻製）
おおボラふき（燻製）
龍宮城（サワラ、大ダコ、タイの燻製）
焼き海苔、味付け海苔、塩海苔



農産品

【特産物】

米、麦、大豆、なす、トマト、サツマイモ、しいたけ、なし、みかん、スイートピー、雑穀（きび、たかきび、はとむぎ、あわ、黒米）

【お宝たまの印】

玉野五穀（たかきび、もちきび、はとむぎ、黒米、大豆）、赤米、乾燥椎茸、乾燥きくらげ、柚子きくらげ、わさび椎茸、しいたけの旨煮、星のトマト高糖度完熟トマトストレート濃縮、滝のハチミツ



酒類

【特産物】

紫笑伝（紫いもの焼酎）

【お宝たまの印】

たまの藤ロマン
（藤の実リキュール）



工業製品

【特産物】

船舶、銅、学生服、化学薬品、食塩

【お宝たまの印】

エプソムソルトシークリスタルス
マスキングテープ

菓子類

【特産物】

紫いものソフトクリーム、備前玉野太鼓

【お宝たまの印】

紫いものスイートポテト・パイ・クッキー

進水久寿玉（もなか）

番田の紫いもバターカステラ

レモンケーキ（玉野産レモンを使用）

BLOOK natural icecream、紫いもくるみ、むらさきいもパウンドケーキ

ミカロン、雑穀シフォン・クッキー



紫いもパイ



紫いもの
スイートポテト



番田の紫いも
バターカステラ



進水久寿玉

民芸品

【特産物】

メバルグッズ

【お宝たまの印】

めばる箸置き

めばる角皿・大皿・小皿

お守り支綱（3種）



お守り支綱



めばる箸置き



めばる角皿・大皿・小皿

ののちゃんグッズ

【衣類】

ののポチ ネクタイ、NONOT シャツ、刺繍入りポロシャツ

NONO エコバック、ポチの足跡ハンカチ

【文房具】

藤原先生のメモ付箋、A4クリアファイル

ポストカード

【雑貨・食品】

ゴルフボールセット、ワッペン、まつ子さんの手又キカレー



ののポチ ネクタイ



A4クリアファイル



手又キカレー

その他 ユニークな加工品

【ご当地グルメ・料理・スイーツ】

たまの温玉めし（穴子入り焼きめし）

たまの自衛艦カレー

ねこたまのランチ

【お宝たまの印】

たまの温玉めしのたれ

紫いもうどん



たまの温玉めし



ねこたまのランチ



たまの自衛艦カレー

観光

本市は、瀬戸内海備讃瀬戸海域に面し、直島諸島等の多島美に恵まれ、東西約 44km に及ぶ海岸線と、渋川海岸など瀬戸内海国立公園区域を有しています。

既存の観光資源としては、渋川海岸、王子が岳、みやま公園などが挙げられます。

また、宇野港では延長 280m・水深 10mの大型客船バースを利用し、交流型ウォーターフロントの創出に向けて様々な取り組みを行っています。

- 渋川海岸 -

県下最大の海水浴場として、京阪神からも多くの利用客が訪れます。周辺には玉野海洋博物館やダイヤモンド瀬戸内マリンホテルなどがあり、王子が岳を含めたリゾート地帯として整備されています。



▲渋川海岸



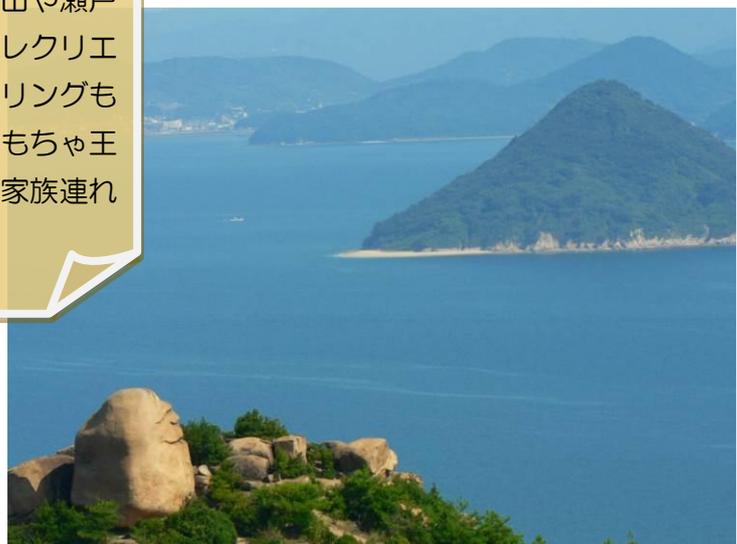
◀玉野海洋博物館



- 王子が岳 -

花崗岩の奇岩・巨岩が林立する特異な山容で知られ、山頂からは瀬戸内海をはさんで四国連山や瀬戸大橋の全景を一望できます。また、体験型レクリエーションとして、パラグライダーやボルダリングも盛んです。山頂付近にはテーマパーク「おもちゃ王国」や「渋川動物公園」があり、休日には家族連れで賑わっています。

▼王子が岳から望む瀬戸内海



- みやま公園 -

自然林とため池が連なる地域の自然を活かした公園として、整備されています。また新鮮な魚や野菜などの直売所「みどりの館みやま」や、「深山イギリス庭園」も併設され、県下最大の都市公園として、市内外から多くの観光客で賑わっています。



▲みやま公園

▼深山イギリス庭園



- 宇野港周辺 -

高松、直島、豊島、小豆島へ、のべ1日往復約80便のフェリーや旅客船で結ばれています。また、宇野港の大型客船バースには年間を通じて多くのクルーズ船が入出港しており、様々な寄港船歓迎のおもてなしを行うなど、にぎわいと潤いのある「交流型ウォーターフロント」を目指しています。

宇野港周辺のイベントとしては、毎年「たまの・港フェスティバル」が、海・港・船をコンセプトに開催され、また、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」の会場のひとつとして、芸術祭屋外作品などが点在したアートサイトにもなるなど、多くの来訪者で賑わっています。

▼宇野港



- 瀬戸内国際芸術祭 -

瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内海の島々を舞台に3年に1度開催する現代アートの祭典です。2010年に第1回を開催し大きな反響を呼びました。

玉野市は2013年より宇野港会場として正式に参加し、国内外より多くの観光客が来場したほか、地元住民や市内の中高校生など、たくさんの方々がボランティアやイベントに関わり、地域の活性化につながりました。

この盛り上がりが一過性とならないよう、会期外の年も「ART SETOUCHI」と題して引き続き作品展示や地域イベントに取り組んでいます。

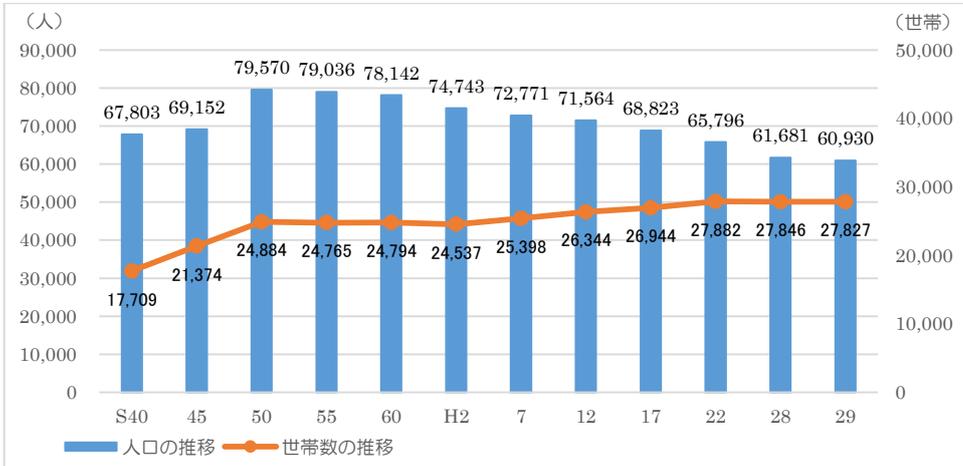
なお、2019年4月から瀬戸内国際芸術祭2019が開催されます。今回も宇野港は瀬戸内海の島々を結ぶターミナルとして多くの人でにぎわうことでしょう。

■ 瀬戸内国際芸術祭作品



データで見る玉野市

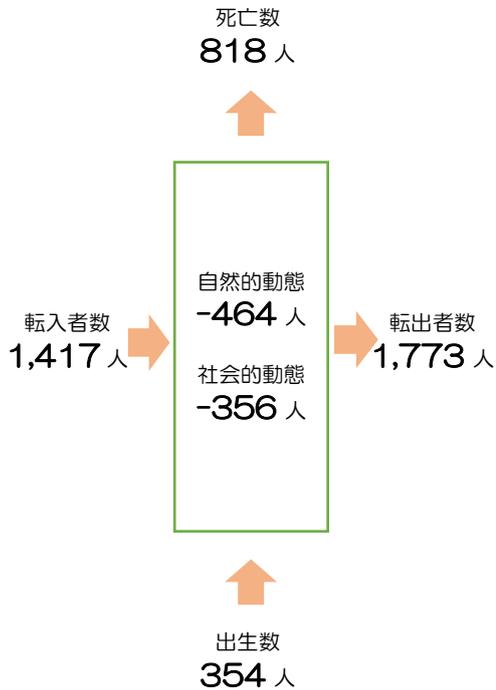
人口・世帯数の推移



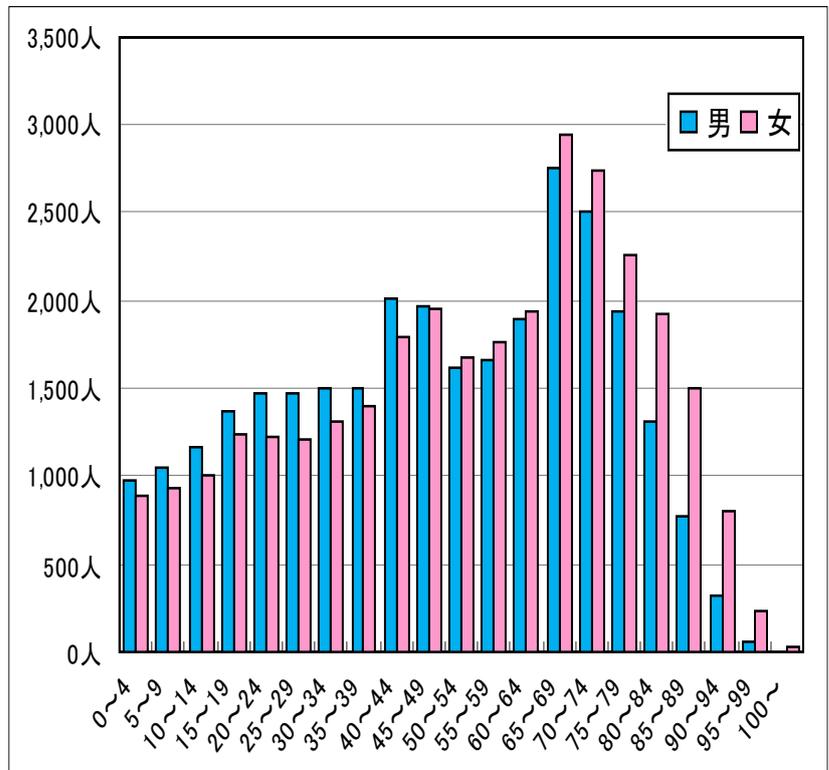
人口 **60,079** 人
 世帯数 **27,727** 世帯
 (平成 30 年 3 月末)

(資料：市民課 住民基本台帳各年 3 月末現在)

動態人口



年齢別男女別人口

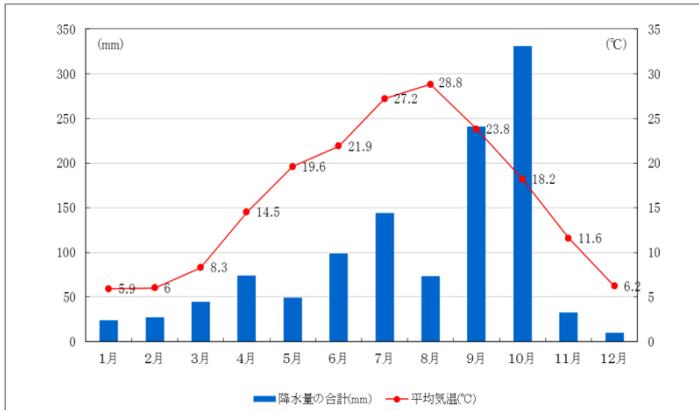


平成 29 年度の人口の増減は、自然増減-464 人、転出入-356 人でした。
 (資料：市民課 住民基本台帳 H29 年度)

団塊ジュニア (40 歳周辺) と団塊の世代 (65 歳周辺) に人口のピークがあります。

(資料：総合政策課 住民基本台帳 H30.3 末現在)

気象

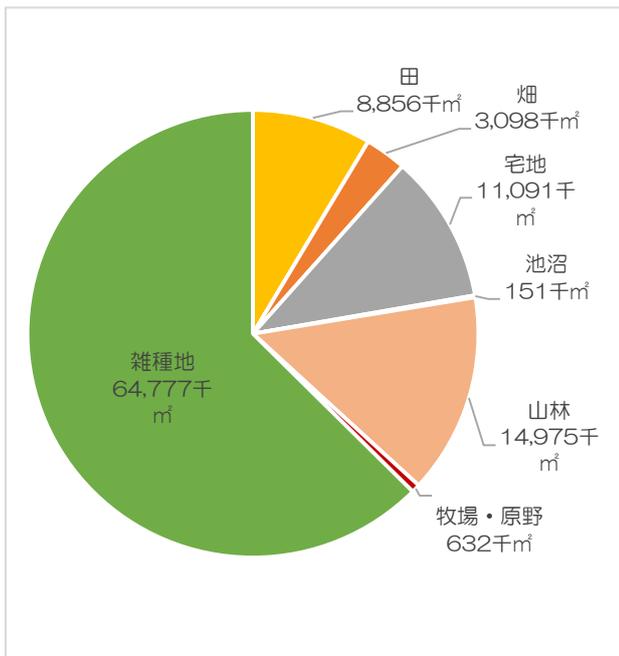


年間平均気温 **16.1℃**
 年間降水量 **1149.5mm**
 年間日照時間 **2261 時間**
 1日降水量 1mm 以上の日数 **88 日**

温暖で雨が少ない典型的な瀬戸内式気候であり、四季を通じて激しい気候の変化がなく、過ごしやすい地域となっている。

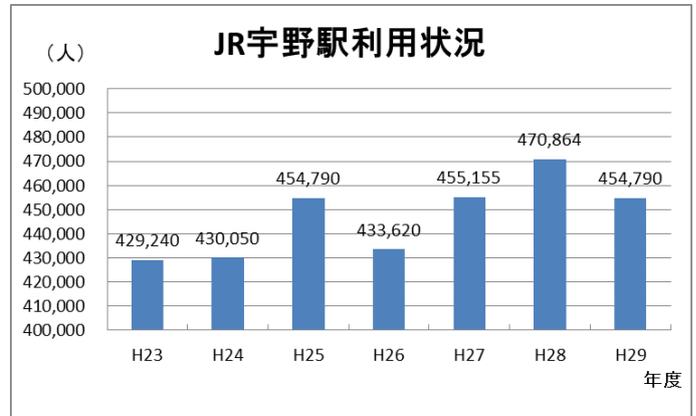
(資料：総合政策課 気象庁岡山地方気象台 H29 年)

地目別面積



(資料：税務課 固定資産概要調書等報告書 H29.1.1 現在)

JR 宇野駅利用状況

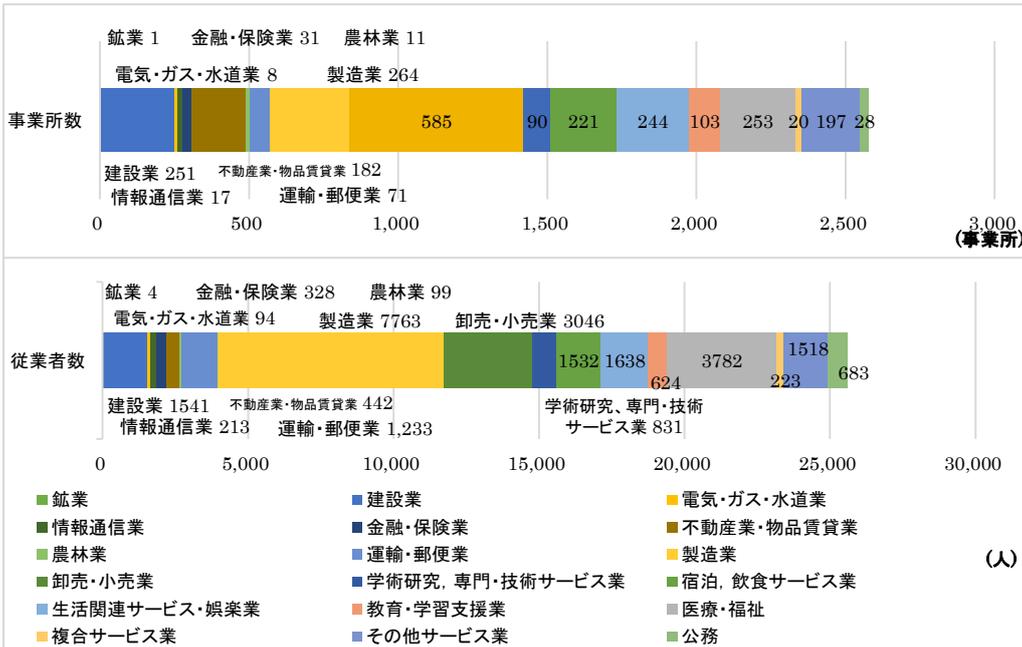


乗車人員 **454,790 人** (平成 29 年度)

明治 43 年に開通した宇野線は、本州と四国を結ぶ交通の主要ルートとして重要なウエイトを占めてきましたが、瀬戸大橋線の開通により利用者数が減少しています。しかし、平成 22 年よりスタートした瀬戸内国際芸術祭をきっかけに、アートツアーの玄関口として JR 宇野駅周辺地区がにぎわいを見せ始めたことから利用者数の増加が期待されるそうです。

(資料：総合政策課 JR 宇野駅)

産業別事業所数及び従業者数



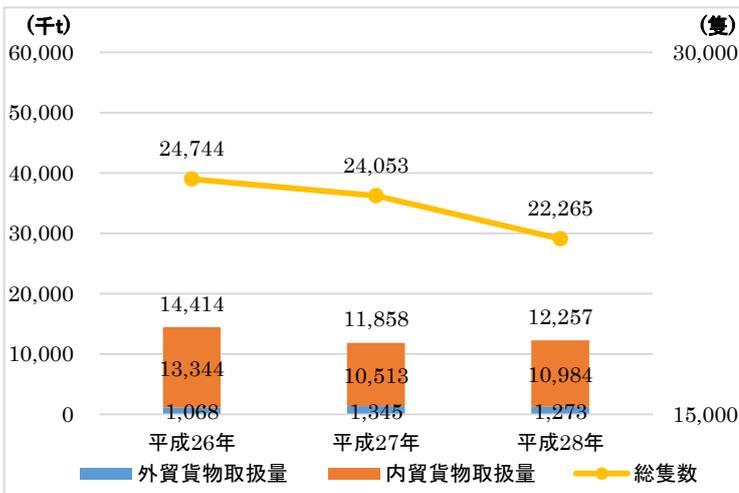
事業所数
2,577 事業所

従業者数
25,594 人

※国及び地方公共団体に属する事業所を除く

(資料:総務省 経済センサス基礎調査 平成26年)

宇野港入港船舶の状況



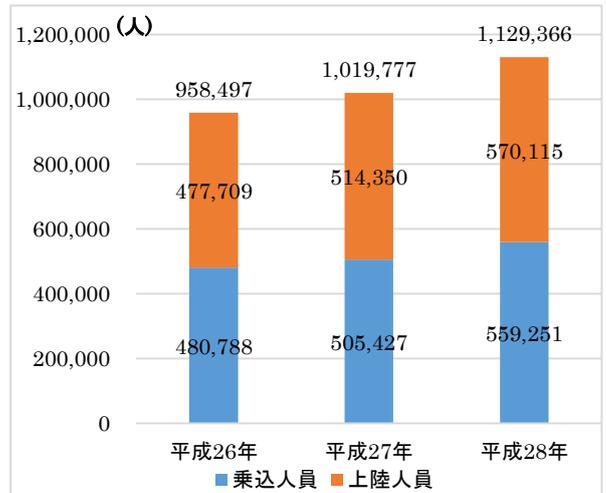
総入出港船舶数 **22,265** 隻 (平成28年)

総貨物取扱量 **12,257** 千t (平成28年)

宇野港港湾計画により、宇野港田井地区は物流関連ゾーンとして、県下最大級(−12m)の岸壁が平成3年度に完成。平成16年度には、タイヤマウント式シブクレーンが設置されるなど、物流機能の整備が図られています。更に同港宇野地区を人流関連ゾーンと位置付け、平成17年度末には総延長280mの大型旅客船専用バース(−10m)が完成するなど、フェリーターミナルと合わせ人流機能の整備も図られています。また、同港日比地区においても、海洋性観光レクリエーションの振興、港湾機能(マリーナ・小型船だまり)の充実が計画されています。

(資料:商工観光課 岡山県土木部港湾課 港湾統計調査)

宇野港船舶乗降人員



船舶乗降人員 **1,129,366** 人(平成28年)

〔 乗込・・・559,251 人
上陸・・・570,115 人 〕

瀬戸大橋の開通に伴う宇高連絡船の廃止、また近年の高速道路料金の割引等による流通形態の変化により、トラックなどの自動車航送を中心としたフェリーの幹線航路としての機能は低下していますが、宇野港の乗降人員数は、約100万人で推移しており、現在もなお重要な役割を果たしています。

(資料:商工観光課 岡山県土木部港湾課 港湾統計調査)

玉野市のあゆみ

1167年

西行法師が渋川や八浜を訪れる



1785年

表具師幸吉（現在の玉野市八浜町出身）、岡山市の京橋欄干から羽をつけて飛ぶ



1909年

宇野港竣工式



1910年

宇野線開通
宇高連絡船就航

1919年

日比町玉に三井物産の造船部（現在の㈱三井 E&S ホールディングス）創業

1934年

瀬戸内海が国立公園に指定

1940年

玉野市誕生

1948年

市立玉野備南高等学校開校

1950年

市営競輪場開設



1952年

市立玉野療養所（現在の市民病院）開設

1953年

市立玉野海洋博物館完成
備南電鉄（のちの市営電鉄）開通
山田村合併



1954年

荘内村合併

1955年

宇野港第一突堤完成
八浜町合併



1957年

市立玉野商業高等学校開校
（現在の市立玉野商工高等学校）

1962年

第17回国民体育大会
（ヨット会場）



1966年

現在の玉野市役所が完成



1968年

国道30号バイパスループ橋完成
皇太子（当時）夫妻、スポーツセンタープール開きにご臨席



1970年

成人の船始まる（～1996年）
玉野おどり始まる



1972年

市営電鉄廃止

1973年

葬祭費無料化を実施

1974年

東児町合併

1983年

玉野市総合体育館（レクレセンター）完成
玉野市民総合運動公園
野球場完成



1988年

瀬戸大橋開通に伴い宇高連絡船廃止
ホバークラフト廃止



1994年

現在の宇野駅完成



1996年

道の駅みやま公園開駅



1997年

市魚がめばるに決まる

1999年

シーバス運行開始

2005年

第60回国民体育大会（自転車、フェンシング、弓道、バレーボール）

2010年

市制70周年を迎える
ののちゃんがイメージキャラクターに決まる



2012年

シータク運行開始

2013年

皇太子殿下、新造船の命名・進水式にご臨席
瀬戸内国際芸術祭2013に正式な会場として参加



2014年

第9回全国ビーチサッカー大会

2016年

瀬戸内国際芸術祭2016に参加
市男性職員シティセールスグループ「TMN4.8」結成



宇野のチヌ 淀川テクニク



2017年

市立図書館・中央公民館リニューアル
ののちゃん・東児ライダーエイトに特別住民票交付

2018年

市立玉野商工高等学校 機械科 新設

玉野市章



市民から公募により、昭和 16 年
5 月 13 日に制定。

「玉野（玉の）」の文字を配した
デザインとなっています。

- 都市宣言 -

- 世界連邦平和都市宣言（昭和 33 年 9 月 30 日）
- 安全都市宣言（昭和 37 年 3 月 20 日）
- 青少年健全育成都市宣言（昭和 52 年 6 月 23 日）
- 非核平和都市宣言（昭和 59 年 6 月 25 日）
- ゆとり宣言（平成 3 年 9 月 20 日）
- 敬老自治体宣言（平成 4 年 12 月 22 日）
- 環境宣言（平成 4 年 12 月 22 日）
- 男女共同参画都市宣言（平成 14 年 9 月 20 日）

玉野市歌

昭和 25 年 8 月 3 日制定 作詞 壺井繁治 作曲 関忠亮

- | | |
|---|---|
| <p>1 うみぐにの うみそいのまち
せとのしお そのみちひきに
あけくれる われらのまちの
いとなみよ ああ、たまの
ひかりあるわれらのまち</p> <p>2 りくにいき ぐらしのあせを
ながしては うみにむかいて
むねひろげ こゝろひとつに
きづくまち ああ、たまの
あすへのぶわれらのまち</p> <p>3 うのとたま ひびをあつめて
だいたまの でふねいりふね
ぞうせんに とどろきやまぬ
わがまちよ ああ、たまの
ちからあるわれらのまち</p> <p>4 しまじまを みさきをむすぶ
かよいぶね こゝはしこくと
ちうごくを むすびはんかな
みなとまち ああ、たまの
さかえぬくわれらのまち</p> | <p>5 ほをあげて すすむがごとき
われらには かぜもあらしも
なにものぞ こころひとつの
われらには ああ、たまの
すすみゆくわれらのまち</p> <p>6 ひるもよも ひびきのなだの
なみをきき なみにせかいの
こえをきき へいわめざして
すすむまち ああ、たまの
へいわなるわれらのまち</p> |
|---|---|



玉野市の概要

【編集・発行】 玉野市政策財政部秘書広報課
(平成 30 年 7 月) 〒706-8510 岡山県玉野市宇野 1-27-1
電話 0863-32-5533 FAX 0863-32-5507
HP ｱﾄﾞﾙｽ http://www.city.tamano.lg.jp
Facebook http://www.facebook.com/tamanocity